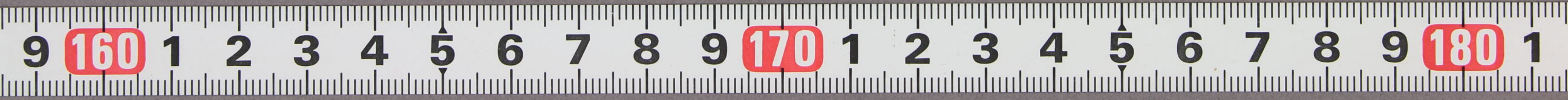


宣統三年
 老得耳
 斗

服部文庫
 117
 2145
 20





莊公

王姬之館于外

桓公命

諒闇

傳

絕不為親

經

齊侯于禚

始與齊婚

傳三年

始判

辭以難

不見追逐

加祀初附以崇魯義

傳尸楚國備立一名乙

楚陳兵之法

敵體同列

上テモヤクニタラシクシテイハル外
出テモヤクニタラシクシテイハル外
云々

諒闇ノテ思テイル
ハヤクニカケルハイテイル

齊ノミタシラテシテイル
姜氏ト云セシ

出奔シテ長魚百カハウテ後
齊公ト云ヤラタシ

備立云々



先君ヲ知ズルノ先代ハ...

臨齊而散... 徴之應之符...

梁滌... 不カ...

明季石類... テイ...

經六年

歸衛俘...

殺友公...

宥之... 以...

為不度...

而後立表...

本文不枝... 故ノ...

蕃滋...

鄧仕於... 母...

噬齊... コウ...

及圖之... ホ...

圖之... 分...

經七年

恒曰...

日之不以... 光...

以水漏...

傳七年

略舉二端... 文...

不害嘉... ホ...

經八年

傳八年... 母...

有從妹... イ...

徒人... イ...

使民... 上...

經九年

當須...

稱入...

岐... 枝...

狂譎... 以...

傳九年

傳乘...

及堂上阜

隆十年

雖成列

以權編

文異於刑卷

既之盟

不編將師

隆十年

弗敢專

必以信

必以情

蒙臯比

吾姨

于其辛

戲舞

隆十年

曰改其師

撥敗

不或為外寇強敵

有之君之難

及而解之

敗張茶

名平

天所改甲

鞠之

相愧曰新

隆十二年

非寧

隆十二年

鹽肉將

隆十二年

皆北杏之在

隆十年

振有次

隆十年

無震

隆十年

其振可

隆十年

隆十年

隆十年

隆十年

隆十年

隆十年

以權編 ミタライイッワリシ

文異於刑卷 ヒ

既之盟

不編將師

隆十年 シテトリワカニニセンシ

必以信

必以情

蒙臯比 トラノ皮ヲカフセテ

吾姨 ウコドウニシ

于其辛

戲舞

隆十年

曰改其師

撥敗 ハクタイ

不或為外寇強敵

有之君之難 トカニ辛スルシ

及而解之

敗張茶 カサカサカケテシ

名平 ナカセシ

天所改甲 アワニ

鞠之 カキテ

相愧曰新 シラカウハ

隆十二年

非寧

隆十二年 シラカウハ

鹽肉將 シラカウハ

隆十二年

皆北杏之在 シラカウハ

隆十年

振有次 シラカウハ

隆十年 シラカウハ

無震 シラカウハ

其振可 シラカウハ

石名ノカワ

ワドニテ シラカウハ

四為法侯

有觀

若於土

故知陣必衰

南制卜乱

經二十三年

不為外交

傳二十三年

桓杜之族偏

經二十四年

刻桓宮

要公

郭公

傳二十四年

禽魯

少執與

東萊脩

不遇二年

〇二十七年

用牲于社

諸魯

傳二十七年

致月銘

唯正月

〇二十六年

以探(字)宮(上)アニサイル

〇經二十七年

公會紀伯姬于眺

傳二十七年

非展義

夫礼樂慈愛

弗畜

賜齊侯命

詰伐衛

〇二十八年

取賂而還

傳二十八年

大戎

歸生美密

カニ卦ニ立於ミルト当人カニルハ
ナイ他人カニルユエ子孫シ
凡ハ吹テ先ハイウテヤム也

啓我心

姓君伐

狄之廣莫

其起伐

振美

德仇讎

拮据

郭内及上市

縣門不發

楚言

鄭有人

狂築郛上

說始雜

須也雜

經三十四年

夏次于成

傳

自毀于亦

傳三十二年

以警于夷

中國則否

不相遺傳

經三十二年

大都以名通

公子牙卒

子般卒

傳三十二年

其至之日

祭先脾春之位

聽於神

正直而壹者也

號多涼德

雲講于梁氏

投蓋于稷門

車ノカサボコヲ大カカホウリアゲテソレニツイテ

アヤウタシ

園山休中

叔ヒノ説シ

出初

出初

出初

出初

出初

出初

慶父材

季友

公子友

鍼季

有後於魯國

賊子般

同公

信元年

寧安既毒

同零相恤

嘉之也

將自斃

所以本也

先顛而

因重固

開攜貳

西復昏亂

先君之推 大よエミヤイテ

無任罪至

苟無瑕

其無要

畢萬之收

曰兆民

其固比

車從馬

足居之

兄長之

安而能殺

孫于邾

無德而孫

欲同之

周社

季氏亡

季氏亡

Handwritten annotations in smaller characters providing detailed commentary on the main text, including names like '大よエミヤイテ' and '大伯曰'.

大有 三三 之乾

ハフヤ 離ノ子

同復于父 千、四ノ以ニダウトハレルノ父ノ位ニ命テテタシ

如君所 三受メ父ノ位ニテタシ

与石祁子珣 ハカケタカシ

夫人孺衣 ハカケタカシ

先民有素 コノ友リヨケドモ前カガリルルイ

言犹已去 秋ノ人教ノ去ヲイウシ

柔於宣化 善ニイフハシ

不可強之 商ナラリニサセルシ

逆諸河 宋桓公カセハヤイテヲセイヲ受タシ

五種 戰ハズ

重幣 ニニキノ

賦役人 以ニ大ニ雙行

誓軍旅 軍令ヲノブルシ

在制命 ハカシワラスルニニア

稟命則 ハカラサシツラウケルト威カチイ

告之以臨民 君ニナルヲ以テニ曲クテヲゼ

兵要速以大 決カランヨウニ

佩表之旗也 表カランヨウニ

則命以始 諸ニハシテイ

衣之純一也 ニシテト

佩之度 フダシメタシ

罔其事 代ツワサトキテウキニシテスル

受服於社 二衣ニカケ

外寤二政 思イニスル

亂本成 亂メノ本カテキテイルシ

成季之繇 ウラナイノ文ウシ

乃事之 ヨリセハヤクシ

授方任 ハカシミツ

信公 ハカシミツ

城刑 盟ト云テ世ケニエフ

盟不以盟告 レニシ

信元年

義在君就（君ノリキウケテシムル）ニライム
虚丘之成（ニホリウニウツシ）魚子ヲウツユエ
公要（ニホリウニウツシ）ニウツシ
為己志（ニホリウニウツシ）ニウツシ

傳二年

於外府（ヨトニシ）シテシラヲコサイテヲリ
少長於君ヒトツシダツク
代鄭三門（代ノ三ノ門）ノ名
保於遂旅（保ヲ遂ニシテ旅ニシテ）ノ名
不信（不信ノ虞）ノ名
姑漏師（姑漏ノ師）ノ名
内屯官（内屯ノ官）ノ名
天集之鑿（天集ノ鑿）ノ名
王德（王ノ徳）ノ名
知齊（知齊ノ盟）ノ名

傳三年

至十月（至十月ノ不）ノ名
至十月（至十月ノ不）ノ名
至十月（至十月ノ不）ノ名

傳四年

使與師言（使與師言）ノ名
凡馬午（凡馬午）ノ名
至我先君（至我先君）ノ名
寡人是徵（寡人是徵）ノ名
向諸水濱（向諸水濱）ノ名
不穀是為（不穀是為）ノ名
徵福於（徵福於）ノ名

傳五年

觀兵於（觀兵於）ノ名
師老（師老）ノ名
資糧（資糧）ノ名
死王事（死王事）ノ名
有以衣斂（有以衣斂）ノ名

傳六年

有以衣斂（有以衣斂）ノ名

叔孫戴伯

逸長 魯ウラオノイ
後ナホイ

專之渝

イキニイモワルケル

攘公之翰

イ子甲生ナトヲノゾクシ

一薰一莸

イニライハキエテシニトモ
ニライハ行アルシ

子辭

ニ日ホト召カケタト云ト云シ

盜于新域

陸焉

宰成凡

行行新義 千レキテイ

始年 少田シ

脩壘 之記

似五年

日亦至 南ノ中エキナクシ

臺上構危

不愾 宣ニテラアニテ
イテスルゾキニルシ

憂心 カメテコニクダ
カメテコニクダ

儲心保 トウノクワカテ
カメテコニクダ

吾仇

命不校 ハリヤワンシ

互已歿君陵 一トテタニシケシ

可以少安

病而亡 コニクダ

於是 弦子楚ニツイテメエモ

強咽 是れ也

不可既 ソニサナシラコエ

輔車相依 車

大王之昭也 父市大佐ノカトクヲルハギモ

王季之穆也 上虞仲之母牙一服ノ兄弟シ

藏於盟府 盟ヲワカサドル後子シ

親於桓莊 晋ケニ公ニ拒莊ハ又イトコニソレ
ノイキチイノツヨクヲキニテコ
ロニタシニテアタタハ速クエ下ニ

惠多偏 ケニムヲ
救コロソワカト要ニテ

款以窮備

曲三契 イサキヨシ



水

上

三三三
上九

陽 二 三 五 七 九
陰 一 四 六 八 十